

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	新編 新しい道徳	2 東 書
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・道徳開きで活用できる「どんな学びをするのかな？」は全学年共通で示されている。 ・デジタル資料で、教材の背景や登場人物の把握をできるようにしている。
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・児童の問題意識を喚起させる投げかけが記されている。 ・心の声を載せずに、児童の考えを誘導させない記述がされている。 ・全学年問題解決的な学習で話し合う場面が教科書に提案されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・いじめの防止に視点を当てた題材の配置がされている。直接的に扱う教材と関連する価値から間接的に考える教材を組み合わせた「いじめユニット」全学年同じ時期に配当されている。人権週間に合わせて扱えるようになっている。 ・教科書に対応したデジタルブックから学習を振り返るアンケートを配信することができる。 ・「演じて考えよう」では、動作化や役割演技等の体験的な学習がすべての学年に設けてある。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・情報化社会での生き方を考えさせる情報モラルに関する題材が全学年で掲載されている。 ・SDGsを知り、考える教材が高学年で多く掲載されている。 ・つながる・広がるでは他教科との学習とつなげたり、普段の生活に広げたりできるようにしている。
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・価値に迫りやすい場面の挿絵が使われている。 ・大きな写真や絵、漫画形式の挿絵が掲載されている。 ・毎時間の題材に、二次元コードが付けてあり、朗読、スライドショー、デジタルノートが活用できる。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	<h2>小学道徳 はばたこう明日へ</h2>	17 教出
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・学習の方向性を明確にする主題が書かれている。 ・考え議論するための発問が2つ用意されている。また、自分の考えを深める発問も設けてある。 ・道徳開きで活用できる「どうとくではこんな学び方をするよ」は全学年共通で示されている。
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出すために教材文の終わり方を工夫している。 ・モラルスキルトレーニングや役割演技などの体験的な学習を教材の中に取り入れている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各学年で重点テーマを設定し（教材＋コラム）の構成でユニット化されている。 ・教材は内容項目ごとにまとめず、指導時期を考えて配置している。 ・「学びチェック」で言葉やマークを使って児童自身が自由に記述できるスペースがある。 ・巻末には、学期ごとや1年間の成長の様子を記入する「学習を振り返ろう」が設けてある。 ・「やってみよう」が「考えよう」の中に適宜位置付けられ、動作化や役割演技等の体験的な学習を取り入れている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「食育」「健康」「福祉」「法」「防災」「キャリア」等の現代的な課題に視点をあてた教材を掲載している。 ・日常生活や他教科特別活動につなげられる「つなげよう」が適宜設けられている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・イラストを全面的に使った教材、漫画や絵本を使った教材がある。 ・カラーユニバーサルデザインの認証を取得している。 ・「学びリンク」では、二次元コードにアクセスすると教材のあらすじやその主題に関する図書の紹介が出てくる。 ・ねらいとする道徳的価値や教材内容への導入を「マナビィ」というキャラクターが提示している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・教科書体を使用し、ユニバーサルデザインフォントになっている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各学年の1つ目の教材にオリエンテーションのページを設け、1年間の学びの見通しと学び方を提示している。 ・各学年の2つ目の教材には、教材に沿って道徳の学び方を提示し、3つの対話（教材・自分・友達）を意識した学びを押しえられるようにしている。
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・各教材に「つなげよう」の項目を設け、考えたことを問い直したり、日常生活とつなげたりすることで、児童の思考を深める工夫をしている。 ・各学年「生命の尊さ」の教材後に「感じよう いのち」を設け、体験活動を通して学びを深めることができるようにしている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・現代的な課題については、ユニットを設け、教材とコラムを組み合わせテーマについて追求することができるようになってきている。 ・巻末に「学びの記録」を付属しており、1年間を通して自分の道徳の学習状況を振り返ることができるようにしている。 ・「考えるヒント」では、教材に応じた役割演技や考えの整理の仕方、活動アイデア、話し合いを活発にする言葉などを紹介している。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・児童が広い視野でさまざまな話題に触れられるよう、「生命」「人権・多様性」「自由に、考える」「SDGs」「情報モラル」「防災」などの教材を掲載している。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・二次元コードを活用し、教材に関連した資料・動画等を視聴できる。 ・各学年「考えるヒント」や「学びの工具箱」のページを設けている。 ・こころん、きらりん、もやもやんというキャラクターが、主題に迫る問いかけや、自分の在り方についての投げかけをしている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・発達段階に応じて、挿絵に登場人物名を添えている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート		116 日 文
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各ページに、内容項目が児童向けの簡単な言葉で提示されている。 ・教材の冒頭では、あらすじと主な登場人物を提示し、児童の教材内容の理解を支援する工夫がされている。	
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・各ページに「考えてみよう」という学習を通して気づいたことや、考えたことを確かめ、今後に生かしていくための課題が提示している。 ・「道徳ノート」が別冊になっており、自分を見つめ、考えを整理し、自分の言葉で表現できるように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・いじめを「間接的に扱った教材」、いじめを「直接的に扱った教材」、いじめ防止コラムを組み合わせ、いじめについて時間をかけて学習するユニットが年間3回設定されている。 ・新「道徳ノート」には、友達の意見や、図や絵が書き込めるスペースがあり、自由記述欄が設けてある。また、その下に、振り返りが書き込めるスペースも設けてある。 ・教科書の巻末には保護者向けのメッセージが、道徳ノートには「おうちの人から」欄が掲載されていることから、学校だけでなく各家庭とも連携し、継続的に児童が学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・児童の発達段階に合わせて、携帯電話やSNSを題材にした情報モラルの教材とコラムが全学年掲載されている。 ・「心のベンチ」では、教材と関連のある内容を取り上げ、他の教科と関連付けて考えられるような工夫がされている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・各ページには二次元コードを活用し、動画を観たり音声を聞いたりすることができる。 ・ココロウというキャラクターが主題に迫るような問いかけをしている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインに配慮し、「UD デジタル教科書体」を使用している。		

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	小学道徳 ゆたかな心	208 光文
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・道徳開きで活用できる「道徳の時間はこんな時間です」が全学年共通で示されている。 ・考えよう、まとめよう、広げようの3項目で毎回構成されている。考えようは2つに分けられている。
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・児童が自問自答しながら主体的に深く考える発問があり、2種類のアイコンが使用されている。アイコンが成長する。 ・「みんなでやってみよう」が全学年の1学期のコラムに掲載されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・特に考えさせたい、いじめと命については、「いじめを生まない心」と「命をかがやかせる」という全学年共通のテーマを設け、複数時間構成で扱っている。また、発達段階に応じて学年独自のテーマを設定している。 ・巻末に、学習記録を積み重ねて自分の学びを見つめる「学びの足あと」を設けている。 ・教材と合わせて扱えるコラムを設けている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・現代的な課題として、「生命の尊厳・自然」「人との共生」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「安全・健康」「キャリア教育」が多く掲載されている。	
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・児童にとって身近なキャラクターや絵本の内容を扱っている。 ・ひよこのキャラクターと共に主題がはじめに示され、考えることがその下に書かれている。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	

第 1 2 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等） 【道徳】

書名 項目	新版 みんなの道徳	2 2 4 学 研
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「ふかめよう」のページでは3つのステップを通した学び方を提案することで、授業の流れが見え、考えが深められるようにしている。 ・教材への関心を高める投げかけとして教材中の印象的な言葉などをタイトル下に掲載している。 ・道徳開きで活用できる「道徳の学習がはじまるよ」が全学年共通で示されている。
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・教材の中に考えるポイントをマークと共に提示することで自分の考えを深めるきっかけとなるようにしている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・最重点テーマを「いのち」とし、「いのちのユニット」に異なる内容項目の教材を組み合わせることで、命に向き合うことができるようにしている。 ・「こころのパスポート」では、教材の関連情報を掲示し、学んだことを生かしながら、多様な学びを展開できるようにしている。 ・巻末には、1年間の学びを振り返る「つなげよう 広げよう」のページを設けている。
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞	
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・巻頭の「つながるわたし ひろがるわたし」のページで示された「食育」「情報モラル」「スポーツ」などの現代的課題マークを各教材に示すことで、児童自身が様々な諸問題に気づくことができるようにしている。
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすかとみらいが全学年の教科書に登場する工夫が見られる。 ・二次元コードを活用し、関連動画や音を視聴できるようになっている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 	